

2026年度 枕崎市立病院 ラダー概要

| ラダークラス          |           | レベルⅠ | レベルⅡ-1                                    | レベルⅡ-2                                    | レベルⅢ-1                                      | レベルⅢ-2                                      |
|-----------------|-----------|------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 専門的・倫理的・法的な実践能力 | 個別目標      |      | 倫理的・法的規範に基づき実践できる                         | 個別に倫理的・法的判断に基づく実践を行い、規範からの逸脱に気づくことができる    | 倫理的・法的判断に基づき顕在、潜在的リスクの解決に向けたロールモデルとなることができる | 倫理的・法的判断に基づき顕在、潜在的リスクの解決に向けたロールモデルとなることができる |
|                 | 責務に基づく実践  |      | 状況に応じた行動、判断。実践への責任を果たす行動における課題に気づくことができる。 | 状況に応じた行動、判断。実践への責任を果たす行動における課題に気づくことができる。 | 職員や組織における課題やリスクに気づき、解決に向けて行動する              | 職員や組織における課題やリスクに気づき、解決に向けて行動する              |
|                 | 倫理の実践     |      | 個別的な状況において判断し、倫理的行動がとれる。倫理的問題に気づける        | 個別的な状況において判断し、倫理的行動がとれる。倫理的問題に気づける        | 顕在、潜在的な倫理問題について問題提起し職員に働きかけたモデルとなる          | 顕在、潜在的な倫理問題について問題提起し職員に働きかけたモデルとなる          |
|                 | 法的実践      |      | 個別的な状況で法令遵守し行動ができる。また法令違反の行動に気づくことができる。   | 個別的な状況で法令遵守し行動ができる。また法令違反の行動に気づくことができる。   | 法令違反のリスクがある職員の行動や組織の状況に問題提起ができる             | 法令違反のリスクがある職員の行動や組織の状況に問題提起ができる             |
| 臨床実践能力          | 個別目標      |      | 標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践できる                  | ケアの受け手に合う個別的な看護を実践できる                     | 幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践できる                      | ケアの最適な手段を選択し、QOLを高めるための看護を実践できる             |
|                 | ニーズを捉える力  |      | ケアの受け手や状況のニーズを自らとらえることができる                | ケアの受け手や状況の特性を踏まえたニーズをとらえることができる           | ケアの受け手や状況を統合しニーズをとらえる                       | ケアの受け手や状況の関連や意味を踏まえてニーズをとらえる                |
|                 | ケアする力     |      | ケアの受け手や状況に応じた看護を実践できる                     | ケアの受け手や状況の特性をふまえた看護を実践できる                 | 様々な技術を選択・応用し看護を実践する                         | 様々な技術を選択・応用し看護を実践する                         |
|                 | 意思決定を支える力 |      | ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かせることができる             | ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる        | ケアの受け手や周囲の人々の意思決定を共有でき、選択を尊重できる             | 意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる          |
|                 | 協働する力     |      | 看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換できる                  | ケアの受け手やその関係者、多職種と連携できる                    | ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携できる                   | ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携できる                   |

|                  |                  | レベルⅠ | レベルⅡ-1                                                            | レベルⅡ-2                                                                 | レベルⅢ                                                                    | レベルⅢ-2                                                                  |
|------------------|------------------|------|-------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| リーダーシップとマネジメント能力 | 個別目標             |      | 標準的な実践を自立して行うことができる                                               | 個別の状況に応じた判断と実践を行うことができる                                                | 幅広い視野で予測的に判断し実践を行い、ロールモデルとなることができる                                      | 幅広い視野で予測的に判断し実践を行い、ロールモデルとなることができる                                      |
|                  | 業務の委譲<br>委譲と管理監督 |      | 看護チーム内他職種の役割を理解し、自立して業務を委譲することができる。また委譲した業務の実施を確認することができる。        | イレギュラーな状況においても看護チーム内で適切な業務の委譲および実施確認できる。また他職種の役割を理解し、必要時業務を移譲することができる。 | 組織において、看護チーム内および他職種への業務の委譲・移譲や業務遂行のプロセスが安全かつ効率的に行われるよう、マニュアル等の見直しに参画できる | 組織において、看護チーム内および他職種への業務の委譲・移譲や業務遂行のプロセスが安全かつ効率的に行われるよう、マニュアル等の見直しに参画できる |
|                  | 安全な環境整備          |      | 安全な環境整備に関わるルールに基づき自立して行動ができる。                                     | 事故や問題の発生時、患者や職員の安全を確保し影響を最小限にする行動が取れる。                                 | 事故や問題の発生時にも主体的に行動し職員を支援するとともに、潜在的なリスクに対する平常時からの危機管理体制整備に参画することができる      | 事故や問題の発生時にも主体的に行動し職員を支援するとともに、潜在的なリスクに対する平常時からの危機管理体制整備に参画することができる      |
|                  | 組織の一員としての役割発揮    |      | 標準的な計画に基づき、業務の優先順位の判断や効率的な時間管理を自立して行うとともに、組織（チーム等）の活動に参加することができる。 | 業務の実施の中で一時的にリーダーとしての役割を担い組織（チーム等）の目標達成のための業務の管理や改善を行うことができる。           | 組織の目標達成のための業務改善や職員の支援を行う組織のリーダーとしての役割を担い、改善すべき点は職員へフィードバックすることができる      | 業務改善や人材育成のためにリーダーとしての役割を担い目標達成に参画することができる。                              |
| 専門性の開発能力         | 個別目標             |      | 専門職としての自身の質の向上を図ることができる                                           | 自身の質の向上を継続するとともに、組織の看護の質向上や組織の新人・学生の指導に関わることができる                       | 幅広い視野と予測に基づき自身と組織の質を更に向上するとともに看護の専門職組織の活動に関わることができる                     | 幅広い視野と予測に基づき自身と組織の質を更に向上するとともに看護の専門職組織の活動に関わることができる                     |
|                  | 看護の専門性の強化と社会貢献   |      | 看護の専門職としての自覚と社会から求められている役割を認識し行動することができる。                         | 看護の専門職としての自覚と社会から求められている役割を認識し行動することができる。                              | 保健・医療・福祉に関わる専門職としての自覚をもって行動し、組織の新人・学生のロールモデルとなることができる。                  | 保健・医療・福祉に関わる専門職としての自覚をもって行動し、組織の新人・学生のロールモデルとなることができる。                  |
|                  | 看護実践の質の改善        |      | 科学的根拠に基づき行動することができる。また自身の看護実践を定期的に見直し質の向上を図ることができる。               | 科学的根拠に基づき行動することができる。また自身の看護実践を定期的に見直し質の向上を図ることができる。                    | エビデンスに基づき自身や組織の看護実践の質の評価と改善を行うとともに、組織の新人・学生の指導を行うことができる                 | エビデンスに基づき自身や組織の看護実践の質の評価と改善を行うとともに、組織の新人・学生の指導を行うことができる                 |
|                  | 生涯学習             |      | 自身の実践や能力の内省・評価や課題の整理が行える。また適宜同僚等からのフィードバックも得ながら、学習を自ら計画的に行える。     | 自身に必要な知識や経験等を判断し、多職種と共に学び合うことができる。また自身の今後のキャリアを考えることができる。              | 自身のキャリアの中長期的展望を描き、その展望に応じた多様な学びを継続することで、職員モデルとなることができる                  | 自身のキャリアの中長期的展望を描き、その展望に応じた多様な学びを継続することで、職員モデルとなることができる                  |
|                  | 自身のウェルビーイングの向上   |      | 自身のウェルビーイングの維持が図れる。                                               | 心身の状況を判断してセルフケアを行い、自身のウェルビーイングの維持向上することができる。                           | 自身や周囲の状況の変化を予測しながら自身のウェルビーイングの維持向上を継続し、職員のモデルとなることができる                  | 自身や周囲の状況の変化を予測しながら自身のウェルビーイングの維持向上を継続し、職員のモデルとなることができる                  |